

会 議 録

会議名	令和6年度第3回相模原市障害者自立支援協議会全体会議 (書面会議)		
事務局 (担当課)	社会福祉法人相模原市社会福祉事業団 電話 042-758-2121 (担当課：高齢・障害者福祉課 電話：042-707-7055)		
開催日時	令和7年1月21日(火)から令和7年1月31日(金)まで		
出席者	委員	16人(別紙のとおり)	
	その他	0人	
	事務局	6人(社会福祉法人相模原市社会福祉事業団：生活相談課長、同主査、同主事/相模原市：高齢・障害者福祉課総括副主幹、同主査、同主任)	
公開の可否	<input type="checkbox"/> 可 <input checked="" type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	—
公開不可・一部不可の場合は、その理由	書面会議のため		
議題	1 議事 (1) 地域生活支援拠点等体制検討ワーキング設置について 2 事務連絡 (1) 令和6年度第4回相模原市障害者自立支援協議会全体会議日程について		

議 事 の 要 旨

(書面会議とした理由)

令和6年10月18日に開催した第2回相模原市障害者自立支援協議会全体会議において、議事について書面会議等により確認することとしたため、委員へ意見を求め、回答を得ることにより会議の開催に代えることとした。

主な内容は次のとおり。

1 議事

(1) 地域生活支援拠点等体制検討ワーキング設置について

地域生活支援拠点等体制検討ワーキング設置に係る所掌事項、構成員等について、事務局より説明資料の送付を行った。

書面により審議を行った。

質問は次のとおり。

(千谷委員)

機能強化型の相談支援事業所は今市内にあるか。24時間の相談対応ができる人材の確保が最近の人手不足でとても困難になっていると感じるので、計画が素晴らしくても担い手が見つからないといった状況にならないか心配である。

(高齢・障害者福祉課)

現在、本市には機能強化型の相談支援事業所が5か所ある。拠点等体制における相談機能は、実質24時間対応ができることが求められるので、こうした事業所をどのように確保していくかもワーキング等で検討していく。

(鈴木委員)

24時間の相談対応及び緊急時受け入れ調整とあるが、現時点で想定する対象者と相談内容について伺いたい。

(高齢・障害者福祉課)

拠点等体制における「緊急」とは、あらゆる緊急事態への対応を指すものではなく、「障害の特性に起因して生じた緊急の事態」への対応とあることから、普段の支援の関係機関では対応が困難であり、生命や重大な結果になるおそれがあるケース対応について検討するものと考えている。

(鈴木委員)

ワーキングの構成員や実際の相談支援対応者に医療者は含まれているか。内容によっては、日常的に医療行為が必要な方や相談受理時に医療の判断が迫られる可能性がある。

(高齢・障害者福祉課)

ワーキングの構成員について、現時点では医療関係者の参加は無いが、今後協

議を進めていく中で構成員の追加等を検討していく。

(町田委員)

ワーキングの構成員に障害者団体または市民の希望者等を参加させることは考えていないのか。

(高齢・障害者福祉課)

まずは、主に支援者側の意見交換を行うため、現時点では障害者団体関係者などのワーキング参加は予定していない。

全体会議で様々な方の意見を伺うとともに、今後協議を進めていく中で構成員の追加等を検討していく。

(茅根委員)

ワーキング設置要綱(案)第5条の会議招集者が市長となっているが、会議構成員の招集は、自立支援協議会設置要綱上、会長が招集しなくて宜しいか。

(高齢・障害者福祉課)

本ワーキングについては、自立支援協議会の一部ではあるが、高齢・障害者福祉課が主に会議運営を担うので市長とした。

なお、今後も全体会議で、ワーキングでの検討状況等について報告等していく。

意見は次のとおり。

(今井委員)

市が標榜する地域包括ケアや重層的支援体制整備も含めた図式の中に地域生活支援拠点も位置付けられるべきであると思う。そういう絵を描くワーキングにしないと、緊急時の対応をどうしましよ的な枝葉末節の議論に終始してしまいそうである。

相談支援事業所の相談員がアウトリーチできる状態になっていないのに、対象者の掘り起こしや事前登録等は難しそう。24時間の相談対応もどこの事業所が担うのか。緊急時の受入れもベッドが空いていれば可能という訳にはいかない。

やはり「地域」の定義を明確にすべく、議論する必要があると思う。

検討ワーキングでたたき台をつくるにしても、それを全体会でも十分に議論する必要があると思う。「地域生活支援拠点事業体制」の構築は、相談支援体制整備、福祉基盤整備をも含んだ、相模原市障害福祉施策推進のための土台となる事業整備と考える。全体会の開催回数も増やして議論することを提案する。

(中谷委員)

ワーキングでの協議・意見交換を全体会議へ報告と記載がありましたが、報告だけでなく、全体会議委員の幅広い意見も含めブラッシュアップできる体制であればと思う。

(村井会長)

拠点コーディネータの機能・能力が非常に重要だと感じる。

人材確保方策・育成方策ならびに関係機関との連携体勢づくりをしっかりと進めていく必要がある。特にキーステーションとの連携(役割分担)などが気になるところである。

地域生活支援拠点が適切に機能すれば、より充実した障害者支援につながることは間違いないと確信します。

(高齢・障害者福祉課)

ワーキングでは皆様の意見も踏まえて検討していく。

議事について、全委員より「同意する」と回答があったことから、地域生活支援拠点等体制検討ワーキング設置に係る所掌事項、構成員等について承認とした。

2 事務連絡

(1) 令和6年度第4回相模原市障害者自立支援協議会全体会議日程について

第4回 令和7年3月28日(金) 午前10時～正午

※第3回全体会議を書面会議で開催したため、当初3月に予定していた第3回は第4回とする。

以 上

令和6年度第3回相模原市障害者自立支援協議会委員名簿及び出欠状況

No.	区分	所属・職	氏名	出欠
1	障害者等関係団体	相模原市障害福祉事業所協会 会長 (くりのみ学園 園長)	いまい やすのり 今井 康雅	出
2		相模原市障害福祉事業所協会 総務 (津久井やまゆり園 園長)	ながい きよみつ 永井 清光	出
3		相模原市障害福祉事業所協会 総務 (やまびこ工房 施設長)	にしむら きぶろう 西村 三郎	出
4		相模原市障害者地域作業所等連絡協議会 会長 (ウディーショップきこり 施設長)	おの あきこ 小野 明子	出
5		(福)相模原市社会福祉協議会 南区事務所長	ちのね かずひろ 茅根 一弘	出
6		相模原市民生委員児童委員協議会 常任理事	きたがわ はるえ 北川 春恵	出
7	指定相談支援事業者	橋本障害者地域活動支援センター ぶらすかわせみ 施設長	なかに まさよ 中谷 正代	出
8		こども相談支援リボン 所長 (NPO法人ワンダートンネル 理事長)	ちや ふみこ 千谷 史子	出
9	障害者等及び その家族	(特非)相模原市障害児者福祉団体連絡協議会 理事	かたおか かよこ 片岡 加代子	出
10		(特非)相模原市障害児者福祉団体連絡協議会 理事	まちだ こういち 町田 紘一	出
11		(特非)相模原市障害児者福祉団体連絡協議会 理事	まつばら みちこ 松原 充子	出
12	保健・医療関係者	相模原市医療ソーシャルワーカーの会 (北里大学病院トータルサポートセンター ソーシャルワーカー)	すずき みわこ 鈴木 身和子	出
13	教育関係機関の職員	神奈川県立相模原中央支援学校 支援連携グループリーダー	とがし ゆきの 富樫 幸乃	出
14		教育局学校教育部学校教育課長	みに まさふみ 三谷 将史	出
15	関係行政機関の職員	健康福祉局地域包括ケア推進部 地域包括ケア推進課長	しあき りょうた 仕明 亮太	出
16		健康福祉局地域包括ケア推進部 高齢・障害者福祉課長	ぬまた よしあき 沼田 好明	出
17		健康福祉局地域包括ケア推進部 精神保健福祉課長	いわた たかゆき 岩田 隆之	出
18		こども・若者未来局陽光園 所長	やまもと かつや 山本 克哉	出
19	学識経験者	田園調布学園大学 教授	むらい ゆういち 村井 祐一	出